

とちぎ夢大地応援団（11月7日実施）

～茂木町河又地区「里山の見晴らし台と遊歩道の環境整備～」

茂木町の北方「河又地区に」において、11月7日、虹色の里あじ彩協議会（河又トモイ会長）が主催する夢大地応援団活動が行われました。第4回目を迎えた本年度は、農村レストラン「虹色の里あじ彩」に隣接した里山において、見晴らし台の草刈りや遊歩道の整備に取り組みました。

この日は夢大地応援団員、森林ボランティア、宇都宮大学の教官、学生など20名のほか、年間を通じて虹色の里あじ彩と交流を続けているバンビーゆめ保育園の親子46名、地元協議会員7名、関係指導機関5名の総勢78名が参加しました。

活動内容は、保育園の園児たちに楽しく遊べる場を提供しようと、里山の見晴らし台において雑木の枝打ちや刈り払い、草刈りを行い、更には見晴らし台に通じる遊歩道を整備しました。また、保育園の園児らは保護者とともに、周辺に植栽されているアジサイの剪定を行うとともに、花のリースづくりを体験しました。

昼食を兼ねた交流会では、新米のおにぎりやいも煮、里芋入りコロッケのほか、焼きたての米粉ピザが用意され、参加者は心のこもった食事をおいしくいただきました。昼食後の意見交換会では、「園児たちの見晴らし台が整備できてよかった。食事がおいしかった。ぜひ次年度も参加したい」という声が全員から寄せられました。

ボランティアの皆さんには、当日、地域通貨「ゆめ」が手渡され、帰り際にさっそく地元農家が生産した米やしいたけ、秋の野菜を笑顔で買い求めていました。



河又地区の活動に参加された皆さん。元気いっぱいです。



危険な大木を伐採



見通しがよくなりました



園児たちもアジサイの剪定に挑戦



藤つるでリースづくり



楽しい食事タイム



本日の特製メニュー



心のこもったおもてなしに感激です



保育園の園長さん、お礼のことば



地域通貨「ゆめ」でお買い物



閉会式で河又会長お礼のあいさつ



昼食を準備してくれた「虹色の里あじ彩」女性スタッフの皆さん

